

三菱地所の CSR を文化の視点で掘り下げる、大丸有フィールド視察



「三菱地所・文化・まちづくり」をキーワードに三菱地所の活動を掘り下げます。大丸有（だいまるゆう：大手町・丸の内・有楽町地区）における取り組み事例の紹介と、人を呼ぶ“にぎわい”の仕掛けやその成果について、そして、文化・芸術の発信拠点となる「三菱一号館美術館」を事例に、まちにおける美術館の位置付けから実際の運営までお話をうかがいます。また、開催中の「バーン=ジョーンズ展」鑑賞後、さらに深いレベルで個別に情報交換する場として懇親会を設定しています。企業ミュージアムをお持ちの方、まちと文化の関係・役割について知りたい方はもちろん、ご関心のある方はぜひお誘い合わせの上ご参加ください。

- 日時 | 2012年7月3日(火) 15:00~18:00 (14:45 新丸ビル・オフィスゾーン1階ロビー集合)
- 内容 | 15:00 大丸有の事例紹介 (発表者: 街ブランド企画部 城所勝巨 副長/加藤浩志 副長)
15:30 「まちなかの美術館」の活動紹介 (発表者: 美術館室 鬼柳 求 副長)、展覧会鑑賞
17:00 懇親会
- 場所 | 新丸ビル プレゼンルーム、三菱一号館美術館、ほか (東京・丸の内)
- 参加費 | 2,000円 (懇親会費含む) *当日受付でお支払いいただきます (領収証を発行いたします)
- 締切り | 2012年6月27日(水) まで (定員・20名になり次第締切ります)
- 主催 | 企業メセナ協議会・会員ネットワークグループ 協力 | 三菱地所株式会社

三菱一号館美術館 | 「三菱一号館」は、1894(明治27)年、英国人建築家ジョサイア・コンドルによって設計された、三菱が東京・丸の内に建設した初めての洋風事務所建築。老朽化のため1968年に解体したが、当時の意匠や部材、その製造方法や建築技術まで忠実に再現し、2010年に美術館としてよみがえる。6月23日より、19世紀後半のイギリス美術を代表する画家・バーン=ジョーンズの全貌に迫る日本初の個展「バーン=ジョーンズ展」を開催。

一号館広場 ▶



会員ネットワーク勉強会とは…

企業メセナ協議会の会員が集う場・出会う場を生み、メセナ活動にかかわる情報交換・研鑽の場として開催する勉強会。会員有志の「会員ネットワークグループ」幹事が「メセナの現場目線」で企画し、運営も担っています。

[会員ネットワーク勉強会] 三菱地所フィールド視察 申込み票

貴社名/ご所属	
お役職/お名前	
E-mail/ご連絡先	

申込 | FAX▶03-5439-4521 | E-mail▶mecenat@mecenat.or.jp | WEB▶www.mecenat.or.jp